

1 班テーマ①今ある施設・空間を活かす		
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
あさひ保育園跡地	▲閉園後、空き地のままになっている	☆他の保育園のサブで使える園庭にする ⇒近隣の保育園の園庭が狭いので、使えるようにする ☆スケートボードができる整備する ⇒地域の子どもがスケートボードを楽しむ為に、他地域に出向いているので、地域のなかに施設があるとよい。 ⇒コース整備をきっかけに新たに人を呼び込めるのでは ☆テニスコートを整備する ⇒テニスコートが地域に無い ⇒中学校のコートを借りれるようにする
北部総合福祉会館	▲施設で何をやっているか、地域の人に伝わっていない ▲手狭になっている	☆オープンな外観にする ⇒地域の人に活動内容が伝わるようにする ☆活動スペースを広くする ⇒高齢者の集まりや、デイサービス施設としても使えるようにする ☆老人大学を開催 ⇒社会福祉協議会の本部（和泉府中）で月 2 回行われているので、幸地区版の内容でやってみる
人権文化センター	◎地域の中心 ▲大ホールが使えない	☆大ホールを使えるようにして、昔のようにコンサートを開催する ⇒アスベスト問題で使えないので、対策して使えるようにする。 ⇒周辺地域の会場にイベントがもっていかれている。 ⇒収容人数は 1,200 人くらい。
小栗の湯	◎バンドや趣味の発表会が開かれている ◎住民みんなが日常的に使う場所	☆寄席を開催する ⇒近隣の貝塚市の銭湯で寄席が開催されているのでまねしては ☆“住民みんなが日常的に使う場所”であることを活かした使い方

1 班テーマ①今ある施設・空間を活かす		
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
市営住宅	▲老朽化している ▲空き家がたくさんある	☆外観をきれいにする ⇒外観が古ければ、ここに住みたいという意欲がそがれる ☆空き住戸をリノベーション・DIY できるようにする ⇒DIY の指導やリノベーションの工事は地域の事業者が発注し、地域の活性化に繋げる ☆シェアハウスにする ⇒若者に限らず高齢者のシェアハウスもありえるのでは ☆二世帯住宅にする ⇒親と子世帯が、近くで住めるような環境をつくる ☆若い人が住み続けられる住宅にする ⇒頑張っても収入が上がっても住み続けられず、地域からでていくことになってしまっている ☆建替えて余剰地に多様な収入層が住める住宅をつくる ⇒同じ戸数市営住宅を作っても、収入制限があるので、コミュニティが同じ層に偏ってしまう
すこやかリビンゲ	◎様々な活動を行っている	☆魅力的な活動を更に増やす ⇒高齢者の見守り、居場所づくり、保育園との交流などを行っているが、さらに魅力的な活動を増やしていく
市営住宅下の店舗	▲空き店舗が増えている ▲倉庫代わりに使われている店舗もある	☆地域で開業したい若者に一定期間無償で貸し出す ⇒若者が地域で起業するきっかけを作れば ☆工房として貸し出す ⇒インターネットを通じ販売する時代なので、需要があるのでは ☆空き店舗を活用したモーニング・居酒屋サロン ⇒市営住宅の空き店舗を活用し 100 円モーニングを行う予定。（4/20 に初回を行う予定なので、ボランティア募集中） ⇒地域のボランティアによる居酒屋サロンをやってみては。 ⇒地域で飲もうと思っても 1 軒目はあるが 2 軒目になるような店がないので、地域の外に飲みに行くことになってしまう

1 班テーマ①今ある施設・空間を活かす

キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
		<p>☆高齢者が集える小さな拠点 ⇒介護保険を利用する層はデイサービスなどを活用しているが、それ以前の段階の高齢者は、小規模な店舗等に数人で集まっているように思うので、彼らの居場所となるような場として活用できるのでは</p> <p>☆商店を増やす ⇒高齢者が多いわりに、必要なものを揃えられる店が少ない ⇒昔のように長い商店街を、歩いて買い物できるようになれば</p>
青少年センター	▲小学校低学年“だけ”が集まる場になっている	<p>☆地域の多様な世代が集まれる場にする ⇒現状では利用者が小学校低学年だけに限られている。未就学児童やを含め親世代、祖父母世代など、幅広い多様な世代が柔軟に利用できるようなればよい。</p>

2班テーマ②地域資源・魅力を広く発信する		
キーワード	関連する現状	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
人が訪れるまち	<p>◎現在も外国人観光客や修学旅行生が訪れている</p> <p>◎佐竹ガラスも訪れ、泉大津（織物）などの見学に行くようだ</p> <p>◎佐竹ガラスでは現在埼玉・岡山などの高校、桃山学院大学と連携して作品づくり・販売等を行っている（継続的に）</p>	<p>☆空家や市営住宅を活用して民泊などを行う ⇒住民は語学勉強をする（翻訳機を使ってもよいかも？） ⇒料理くらいなら手伝える</p> <p>☆佐竹ガラス、弥生文化博物館など、もっと地域で滞在してもらえるようにする ⇒佐竹ガラスをもっと知ってもらえる、販売・体験のできるスペースをつくる</p> <p>☆だんじりや盆踊りをもっとPRし、来訪者に参加してもらおう ⇒浴衣に着替えられるスペースを用意する ⇒盆踊りは場所が狭いので、広い曾根遺跡公園でしてもよいのでは？</p> <p>☆地域で食事してもらおう場所をつくる ⇒飲食店がもっと必要（空家等を活用）、屋台を出す ⇒スーパーをつくる ⇒だんじりで朝市をやる</p> <p>☆駅を出てぱっと分かる看板をつくる</p> <p>☆和泉弥生ロマンツーデーウォークを復活させて、ルートの中に入れてもらう（地域を知ってもらう機会をつくる）</p>
地域のPR	<p>◎聖神社など地域に神話がある</p> <p>◎地域にはペンキ屋さんが多くいる</p>	<p>☆地域の神話もからめて、伝承話（レジェンド）をつくり、アニメ化 ⇒市内のアニメ作家に作成依頼</p> <p>☆アニメを活かして地域でPR ⇒団地の壁などに書いてアートのまちにする ⇒ペンキ屋さんに手伝ってもらおう ⇒アニメにちなんだガラス工芸品も作ってもらおう</p>
ものづくりのまち	<p>◎雪駄づくり、ガラス工芸などものづくりで発展した歴史</p> <p>◎現在もペンキ屋さんが多くいる</p>	<p>☆市営住宅や空き店舗を使って、大学生等のアトリエとして利用（工芸品の販売なども行う）</p> <p>☆ガラス工芸の大会を開催する</p> <p>☆（他の学校とは特徴の異なる）ものづくりに強い学校にする</p>

2班テーマ②地域資源・魅力を広く発信する		
キーワード	関連する現状	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
地域資源を地域で広げる	◎盆踊りでは最近子どもの保存会ができた（現在は幸小の子どものみ）	☆池上小の子どもにも参加してもらえるよう、地域でPR
その他		☆桃山大学の学生に安くすんでもらう、そのためには現状を知った上で、働く場所も必要

3班テーマ③公共施設の未来を考える			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
小栗の湯	◎週3回程度利用している	○今後も地域に必要	
人権文化センター	◎研修や盆踊りの練習で利用している ◎書類の印刷をしに来ている ▲施設の規模は大きい、自分が利用する部屋・機能以外に何があるか分からない ▲昔はカラオケ大会などもしていたが、最近はイベントが少ない ▲市民文化ホールの利用ができないままなのは、地域活性化をはかる上でイメージが悪くなる	○もっと人々が交流できる施設になってほしい ○市民文化ホールを利用できるように改修すべき	☆用途を限定せずに使ってもらう ☆イベントを増やす ☆人権文化センター、講堂の内装を改善、舞台の設置 ☆市民ホール、食事など飲食できる施設の設置、ロビーの設置 ☆大ホールの改修 ☆（新たな用途として）防災時に使えるシェルターにする
北部総合福祉会館	◎総会や老人クラブで将棋など行われている ◎無料浴場は高齢者向けで、小栗の湯とすみ分けできている	○今後も地域に必要	
和泉診療所	◎高齢者の利用が多い ◎バスで行けるのでアクセスが良い	○今後も地域に必要	

3班テーマ③公共施設の未来を考える			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
池上曾根弥生情報館	◎公園の利用は多い ▲場所が遠いため、あまり利用しない ▲昔と比べてイベントが減っている ▲遺跡関連の施設が地域に多すぎる ▲イベントがない時、駐車場が空いている ◎現在はフリーマーケットなど行われている	○使い方をもっとアピールすべき ○公園内に人々が集まれる施設をつくる	☆まちづくり検討の機会などで使う ☆現状マーケットを行っていることを周知する ☆公園内に野外音楽場を作れば地域の目玉になる
王子町・幸町分館	▲昔は自治会館の役割を果たしていたが、施設の老朽化で利用頻度が下がっている ◎週に1回民謡の練習に利用している ◎昔は結婚式や着付けなどを行っていた	○利用している住民の意識、利用実態、地元の意見をふまえ、これからの自治会館のあり方を考えるべき	☆至る道の整備や駐車場の整備が必要
団地内集会所	▲地域にある集会所は全部で10ヶ所あるが、利用頻度に差がある ◎幸団地、山手団地、和泉第一団地は選挙の投票所になっていることもあり、比較的利用がある		☆集会所をうまく利用している事例（岸和田市星ヶ丘団地など）を見学する ☆地域のイベントを自治会で考える ⇒クリスマスに子どもに向けたプレゼントを高齢者がつくる ⇒誰が主体となってイベントを進めるかが課題
すこやかリビング	◎週に1～2回話し場を求めに行っている ▲現在2ヶ所で行っているが、幸3丁目（山手団地）の方は坂を登らないといけないうので行きづらい		

3班テーマ③公共施設の未来を考える

キーワード	関連する現状 【○】良い／【▲】課題	まちの未来に 向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
その他		若い人たちが集まれる、イベントができる所	<p>☆民泊のように海外の留学生が生活して地域交流できるようにする</p> <p>☆大学生を市営住宅の空いている部屋にシェアハウスで入ってもらい、地域の交流をしてもらって住んでもらう</p>

4班テーマ④学校・教育環境を考える			
キーワード	関連する現状 【○】良い／【▲】課題	まちの未来に 向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
地域の子どものこと	◎賢い子・ユニークな子・元気な子 ◎大人になっても先輩後輩繋がり多い ▲中学生集まる場所ない *持てあましてる *認めてもらいたい	○子ども達の居場所をつくる	☆ひとりにならない居場所 ☆ふらっと集まれる場所
子どもが少ないこと	◎もめごと少ない ◎手厚く見てくれる ▲子ども同士での学びが少ない ▲切磋琢磨する機会少ない ▲集団活動の経験少ない	○地域に子どもを増やす →子どもを伸ばすのは子ども同士！	☆バザー・祭りなど「売り」になるイベント ⇒小学生・中学生の縦割りチームをつくる ⇒子どもが中心となってイベント内容を考える
子育て環境のこと	◎てらこやハッピー（子ども食堂） ▲ママ同士の悩み話せる場がない ▲ゆとりのない親もいる ▲子ども会等の母体組織がない ▲児童・生徒の親の集まり少ない（共働きのため）	○地域で子どもを育てる	☆幼稚園～中学校の親同士が繋がる・話し合える場 ⇒魅力ある教育環境を本気で考える場 ⇒ママ同士が悩み相談できる場
学校のこと	◎あったかい学校 ◎花植えで中学校と幼稚園が交流 ▲中学校のイメージよくない（落書等）	○のびのび育つ学校環境 ○子どもにとって魅力的な教育 ○小中一貫で良いねと思える教育	☆他の学校ではやってないことにチャレンジ ⇒地域産業などを学べるキャリア教育をもっと伸ばす ⇒地域のことを知る機会として活用

6班テーマ②地域資源・魅力を広く発信する			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
アクセサリ産業の強みを活かす	◎幸小学校5・6年生のアクセサリづくり体験（デザイン⇒地域で評価⇒値付けしてサンパール前で販売） ▲販売は平日2時間だけともったいない ▲よい取組みなのでもっと広げるべき ◎佐竹ガラスは観光バスでの来客も多い	○今ある取組みを発展・拡大させる	☆販売期間などを拡大して買いやすいようにする ⇒販売期間を2日間に ⇒地域の商店で連携して販売 ☆将来の人材育成につなげる ⇒小学校だけでなく、中学校・高校でも実施する ☆全市に広げる ⇒市が主催し、市内の学校が広く参加するコンテスト（デザインコンテストなど）を開催する ⇒市の広報や市のマスコットキャラで、広報展開する
盆踊りや三味線などの伝統を継承・発信する	◎盆踊り、三味線の教室があり、地域外からの参加者も多く、人数も増えてきている ▲三味線は「参加者の持参」でハードルが高い ▲後継者をつくるためにはもっと参加者を増やすべき	○伝統文化の後継者づくりに参加しやすいように改善する	☆地域で複数保有して貸し三味線をする
定期的なイベントで外から人を呼び込む	◎池上曽根史跡公園で、フリーマーケット、朝市が定期的で開催されている ▲地域外からの来客多いが、地元にはまだ浸透していない ◎池上曽根史跡公園で、商工会開催の大型イベント（有名歌手のコンサートなど）が10月に開催されている ◎子ども食堂、毎回100人	○各イベント連携して、地域内外の人を集める	☆各イベントを合同で開催する ⇒商工会主催の大型イベント時に、アクセサリづくり・販売、盆踊り・三味線、子ども食堂、ブックフェスティバルなど、地域のイベントも参加する ⇒商工会に協力してもらうよう働きかける ☆新たな名物をつくり、イベントの発信をする ⇒幸小～放光池公園の通りに「桜並木や紅葉並木」をつくり、

6班テーマ②地域資源・魅力を広く発信する			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
	を越え、地域外の子どもも多い ▲予算の都合上、月1回の開催にとどまる ◎読みきかせのブックフェスティバル		放光池公園 で月1の「マルシェ」（手作り市など）を開催し、定期的に人を呼び込み、地域のイベント情報を発信する機会にする
その他	◎歴史資源はたくさんあり、イベント等も盛ん（博物館主催、子ども歌舞伎など） ◎桃山学院大学のイベントや講座も行われている ▲大学主体か、地域主体で大学に協力してもらうのか、アプローチを明確にする必要がある ◎スーパー多い（駅前） ▲団地の近くに身近な商店がほしい		

7班テーマ④学校・教育環境を考える			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に 向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
地域で子どもを育てる	<p>▲全校 100 人では PTA 活動が成り立たないので、地域も参加すべき</p> <p>◎幸校区では現に様々な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターのどろん子供会 土曜日教室 ・西教寺のてらこやハッピー <p>▲池上は、だんじりがある程度</p> <p>▲富秋町も規模が小さいので自分たちだけではなかなか取り組めない</p> <p>▲青少年センターも市からの委託事業なので制約はある</p> <p>▲母子家庭なども多く、家庭で教育がままならない</p> <p>▲居場所がないので、子どもがどこにいるのかわからない</p> <p>▲母子家庭なども多く、家庭で教育がままならない（再掲）</p> <p>▲富秋中学校区のイメージが悪い</p> <p>▲子どもが居場所がすくない。 （ボール遊び禁止、グラウンドの貸し出しにも保護者</p>	<p>○今の地域の取り組みをベースにするがそこに入りやすくするなど工夫が必要</p> <p>○学力だけでなく生きていく力をつけてくれるような教育</p> <p>○気持ちを発散する場所、心のよりどころが必要</p>	<p>☆すこやかリビング（高齢者対象）に、子育て中の母親や子どもも参加し、多世代交流を</p> <p>☆青少年センターの取り組みについて、みんなで話し合い、もっと使いやすくする</p> <p>☆青少年センターの取り組みを、団地の集会所などで出前で行う。</p> <p>☆てらこやハッピーで、お母さんの相談の場を</p> <p>☆地域にある空き家を活用する</p> <p>☆留学生による語学教室などを開く。小学校でも国際色のある授業に取り組んでもらい、地域の売りにする。</p> <p>☆地域での見守り、声かけなどを行う</p> <p>⇒中学生くらいになると注意しづらい</p> <p>☆スマホの使い方教室を開く</p> <p>☆子どもの相談場所をつくる</p>

7班テーマ④学校・教育環境を考える			
キーワード	関連する現状 【◎】良い／【▲】課題	まちの未来に 向けた考え方	【☆】アイデア ⇒具体的に（誰が・どこで・何を）
	<p>が必要など)</p> <p>▲人数が少ないので部活動なども活発でない</p> <p>▲スマホ頼りでコミュニケーションがとれない</p>		